

教えて! 市立病院

〈第 142 回〉

米沢市立病院外科の地域医療の役割

■問合せ / 市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

近年、医療技術の進歩により^{ふくくうまう}腹腔鏡手術やロボット支援手術が普及し、一般外科は大きな変革期を迎えています。低侵襲手術は、患者の身体的負担を軽減し回復を早めることができますが、外科医にはより高度な技術と継続的な修練が求められます。当院においても腹腔鏡手術を積極的に導入し、日々研鑽を重ねながら、良質な医療を提供できるよう努めております。また、消化管、^{かんたんすい}肝胆膵、乳腺、甲状腺、ヘルニア、外傷など幅広い領域を対象に診療を行い、福島県立医科大学や山形大学医学部とも連携しています。

一方で、田舎の地域病院における外科は、単なる専門診療科にとどまらず、地域医療を支える中核的な存在であると考



【今月のドクター】
外科長
はが じゅんいちろう
芳賀 淳一郎 医師

えます。外科医は消化器疾患や外傷、がん、感染症など多様な疾患に対応する必要があり、時には内科的判断や救急初期対応も求められます。そのため、「何でも診る」という総合的な姿勢が重要となります。また、高齢化が進む米沢においては、外科治療の目的は単に手術の成功に限らず、患者の生活背景や家族構成を考慮し、術後の生活の質や在宅復帰までを見据えた医療が求められます。外科医は患者や家族と丁寧に向き合い、地域の介護・福祉と連携する調整役も担っていると考えます。

当院の外科は、地域医療の「最後の砦」としての役割を果たすという信念の下、^{もと}地域の人々の力となれるよう今後も日々全力を尽くしてまいります。何でも相談してください。